

会 議 録

名 称	酒田市子ども・子育て会議（平成 26 年度第 3 回）	
議 題	<p>議事</p> <p>(1) 酒田市子育て支援行動計画（後期計画）平成25年度進捗状況について</p> <p>(2) 子ども・子育て支援新制度に係る市基準（案）に関する意見募集の実施結果について</p> <p>(3) その他</p>	
開催日時場所	平成 26 年 8 月 7 日（木）午前 10 時 00 分～午後 0 時 00 分 酒田市総合文化センター4 階 412 号特別室	
出席者	委 員	池田委員、赤松委員、北谷委員、佐藤委員、近藤委員、山口委員、石垣委員、宮田委員、齋藤委員、加藤委員、武田世津委員、大滝委員、武田真理子委員、岩間委員、村上委員
	事務局 (所管課)	子育て支援課
	関係課等	健康課
会議の概要	※詳細別紙	
配付資料	<p>資料 1 酒田市子育て支援行動計画（後期計画）平成 25 年度進捗状況</p> <p>資料 2 子ども・子育て支援新制度に係る市基準（案）に関する意見募集の実施結果</p> <p>参考 1 委員提出資料（意見、情報等）</p> <p>資料 2 山形県における幼保連携型認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営の基準（案）について</p>	
特記事項	傍聴者 3 名	

別紙

酒田市子ども・子育て会議（平成 26 年度第 3 回）（要旨）

- 1 開催日時：平成 26 年 8 月 7 日（木）午前 10 時 00 分～午後 0 時 00 分
- 2 場 所：酒田市総合文化センター4 階 412 号特別室
- 3 出席者：
委 員 池田委員、赤松委員、北谷委員、佐藤委員、近藤委員、山口委員、
石垣直美委員、宮田委員、齋藤委員、加藤委員、武田世津委員、
大滝委員、武田真理子委員、岩間委員、村上委員（15 名）
酒田市 健康福祉部長、健康課長（代理）、子育て支援課（事務局）
- 4 議 題：
議事
(1) 酒田市子育て支援行動計画（後期計画）平成 25 年度進捗状況について
(2) 子ども・子育て支援新制度に係る市基準（案）に関する意見募集の実施結果に
ついて
(3) その他
- 5 配付資料：
資料 1 酒田市子育て支援行動計画（後期計画）平成 25 年度進捗状況
資料 2 子ども・子育て支援新制度に係る市基準（案）に関する意見募集の実施結果
参考 1 委員提出資料（意見、情報等）
参考 2 山形県における幼保連携型認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営
の基準（案）について

【 午前10時00分 】

○進行（子育て支援課長補佐）

時間になりましたので、はじめさせていただきます。本日はお忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。

なお、本日は酒田市 PTA 連合会の佐々木委員、酒田地区私立幼稚園 PTA 連合会の石垣委員、酒田特別支援学校 PTA の前田委員、酒田市小学校長会の大通委員、公益社団法人酒田青年会議所の櫛引委員より、欠席の連絡をいただいております。

20名の委員中15名のご出席をいただいております。過半数の委員が出席しており、子ども・子育て会議条例第7条第2項に定める定足数を満たしておりますので、会議を開催させていただきます。

また、本日は3名の方が傍聴されますことをご報告いたします。それでは次第に従いまして進めさせていただきます。

次第の「2. 議事」につきましては、議長の武田会長さんをお願いしたいと思います。それではよろしく願いいたします。

○会長

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。それでは議事に入ります。

(1) 酒田市子育て支援行動計画（後期計画）平成25年度進捗状況について、こちらの計画については、この会議で進捗状況を点検管理していくということになりますので、事務局より説明をいただいた後に、みなさまから意見をいただきたいと思います。

○事務局（子育て支援課長、子育て支援課家庭支援主査）

【資料1に基づいて説明】

○会長

主に利用者増加があった事業を中心に説明していただきました。5年計画となっている子育て支援行動計画の4年目の進捗状況の報告と、酒田市役所での事業評価結果ということでお示しいただいたと思います。あと1年間ありますが、委員の皆様から平成25年度の事業評価資料について、意見や質問をいただきたいと思います。

○佐藤義委員

多くの事業があり、大変容易ではないと思いました。私の方から、情報提供と要望がありますが、回答は不要です。

学童保育では、保護者の研修会ということで、今年は危険ドラッグ・薬物乱用をテーマにしています。行動計画の69番と222番でやはり、子ども達の健全育成ということがあります。薬物乱用防止とは非行防止ということになると思いますが、私が所属する団体でも、学校を通じて関連の教室をしていますので是非活用していただきたいと思います。以上、情報提供でした。

○会長

ありがとうございました。議題にないものでも、次年度の計画策定につながるようなことがあれば、意見・提案などお願いします。現状や課題についてでも結構です。

○石垣委員

NPO法人にこっとの石垣です。当法人でも休日・夜間保育に関して手を焼いている状況なのですが、市の評価がE評価（未実施）のようですが、この1年でどのように変わるよう検討しているのか聞きたい。加えて計画9番の子育てアドバイザーについて、全国ひろば会議でも、各都道府県で養成講座を開催しているところがあるようですが、山形市などでもまだ取り組まれていないようですが、酒田市では現状どう考えているかと、養成講座などの実施見込みはあるのか聞きたい。

○事務局（子育て支援課長）

夜間保育については、需要が把握しにくく、予算・人員・組織などの用意が難しく、なかなか進んでいないという実態にあります。

休日保育については、にこっとさんからも実施していただいております。ほか、無認可施設においても1園にて実施していただいている箇所はありますが、確かに認可保育所において公立・民間ともにやっただけなのかという点について、手を挙げていただけたところがあれば非常にありがたいことですが、需要の把握しにくい状況などから、実施に至っていない状況です。市としては、取り組みたいことであり、新計画には皆様の意見を鑑みながら深く検討していきたいところです。

また、子育てアドバイザーについてですが、現状では子育て支援センター・児童センター、あるいは市の家庭児童相談員などで相談をうけており、ある程度は対応できているものと感じている。アドバイザーの講座等については未検討の状況ですが、皆様の意見をいただきながら検討していきたいところです。

○石垣委員

国からアドバイザーになるにあたって満たすべき条件などの提示はなされていないのでしょうか？

○事務局（子育て支援課家庭支援係長）

子育て支援課の守屋です。新制度においては子育てアドバイザーについては特に出てきていないことで、利用者支援として横浜市などでコンシェルジュといった形式で、全国的に施設と施設を繋いだり、相談を受ける人を配置するなどの場合は、助成するなどの事業はあるが、最近ではそのような話が出てこない。

○会長

ありがとうございます。計画の9番で具体的施策としてありますので、皆様からの関

心も高くあると思います。現状は回答のとおりと思いますが、今後も検討いただければと思います。先の休日保育について、近藤委員の方からご意見をお願いします。

○近藤委員

酒田市法人保育園協会の近藤です。休日保育については、この場でも何度か話になりましたが、4年後・5年後の計画に反映していけるよう積極的に取り組んでいただきたい。

休日保育については、法人で実施するにあたり、保育単価が絶対的に足りないと思われる。採算を度外視できるような財源は保育園には無いため、その持ち出し分をどこから用意するかという話になってくるが、事実上不可能な提案になってくる。

希望調査という話もあったが、モデルケースとして取り組むならば、公立で休日保育をどこかに設けてはどうか。公立は予算も一般財源になっているのだから、一旦は市の判断のもとにモデルケースを実施してみて、需要などを把握したうえで、国の基準で対応しきれない部分を酒田市独自として流れをつくっていったらどうか？補助の上積みなどが見込まれれば、法人で手を挙げることも考えられると思う。

また、夜間については泊まりの場合もあるため、どうしても施設改修などの問題もあると思われる。入浴設備や寝室等、セキュリティの問題もあり、保育所は女性職員が多い状況であることから、通常の運営費単価の考え方だけでは始められないことだと思う。病児保育のあきほ保育園では実施しているようだが、やはり実施にあたっては準備がネックになるため、現場を見てみることを提案する。

予算について言われることがあるが、事業の中で平田保育園の体調不良型への実績がほとんどないようだ。そちらを切り上げて予算配分などはできないかと考える。

加えて、横浜のコンシェルジュについてだが、考えが混同しているかを感じる。これは待機児童の割り振りなどを考えるもので、悪い話ではないと思うが、酒田市では、入園調整の際にできる限り入園できるよう配慮もされていると感じており、現状でも大丈夫と思っている。ただし、子育てにおけるアドバイザーとしては、何に重点をおいていくものかを定義をしていく必要性を感じる。

○会長

この会議においても話になっていることであり、加えられるべきことなどあれば提案していただきたい。近藤委員の意見について事務局側としてはいかがでしょうか？

○事務局（子育て支援課家庭支援主査）

子育て支援課家庭支援主査の堀賀です。休日保育については、児童課時代に検討していた経過があります。その際に、他自治体での事業実施状況も確認していたのですが、その時点では公立での実施を主軸に考えていました。どのような職員が必要であるかなどの検討もされていたようです。

今回子ども・子育て会議の開催にあたり、公立の園長会においても以前視察参加をし

た園長を中心に休日保育が進んでいないことについて話をしているところです。具体的な意見には至っていないものの、話題として取り上げています。

○会長

ありがとうございます。引き続き検討課題となっているとのことですが、この場の意見も考慮していただければと思います。

アドバイザーについては、私も市の子育て支援センターでヒアリングをさせてもらったことがあります。限られた職員での対応で職員の配置なども決して十分ではないと思う点はあるが、ニーズがあると解釈すれば、アドバイザーを含め体制について検討の余地があると感じています。

その他意見があればお願いします。

○北谷委員

北谷と申します、よろしくお願いします。学童について知人である保護者からの話があり、是非伝えてもらいたいとの要望があったのでお話しさせていただきます。学童保育では夕方 5:30 頃にトイレ清掃を行っているようだが、その後のトイレ使用が禁じられているようだった。別の保護者にも聞いたところ、同様の実態らしい。生理的なことであるが、そのような規則などはあるのか教えていただきたいと思います。

○佐藤委員

この件については、後ほど具体的に教えていただきたい。

○会長

この件は個別に相談したほうが解決は早いように思われますが、事務局からは何かありませんか？

○事務局（子育て支援課長）

内容からいって、個別に相談をいただきたい。

○北谷委員

その保護者は市役所に訴えかけようと思ったが、預かってもらっている手前、言えなかったとのことだった。

○事務局（子育て支援課長）

困ったことがあれば、私に直接でもいいですから相談していただきたい。委託先機関にも改善について意見をすることもできると思うので、是非相談してくれるよう伝えていただきたい。

○会長

是非お願いします。

○宮田委員

掃除をする前にトイレに行きたい子がいないか聞いた上でやっているのでしょうか？

○北谷委員

聞いているようです。しかし、プレッシャーにもなりますし、生理現象なので難しいところだと思います。

○宮田委員

あとは対応方法次第ですね。

○会長

現場でのこともいろいろと分かりました。他にいかがでしょうか？

○大滝委員

大滝です。過去2回ほど欠席しましたが、現状の計画の見直しとして聞いて、これは要望でもあるのですが、酒田は人口減少が進み、新生児も一時は600人台まで減り、先々消滅する自治体にも含まれているわけで、今までのままでいいのか、それとも子どもを増やすような他には無いような計画を立てていくのか。

夜間保育にしても、『難しい』と片付ければ他の自治体と変わらないわけですし、過去5年間とも変わらないわけです。他の自治体には無いような計画を、母子家庭や父子家庭も多いですし、休日や夜間就労をしなければ生活できないが、預け先が無い方も多いはず。

酒田ならばひとり親環境でも生活を成り立たせることができるような、酒田独自の特徴をもって若い女性などが『酒田でなら子育てができる』といった状況をつくらないと、今までどおりで良しとすれば多分酒田は子どもも減り、衰退して消滅する自治体になってしまうと思う。

これは評価なのでとりあえずはいいですが、今まで通りではなく、これからは全く視点の違った『酒田でなら子育てができる』というような計画にしていかないと、5年後・10年後にはこのように計画を作っても、利用者がいないような状況になると思う。そこで特徴のある支援策などを考えるべきであると思う。

○会長

ありがとうございました。次の計画策定もあるところですが、大滝委員にはいつも前に進むような意見をいただいております。大変重要ですし、こ

の会議でもそのような意見を出していかなければならないと認識しました。それでは宮田委員をお願いします。

○宮田委員

参考資料1のほうに私の意見を述べましたが、資料15ページの180番についてです。進捗状況からこれからの対応についてということで、小学生・中学生・高校生自身によるボランティア活動の推進と、地域などで展開されるボランティアなどの市民活動への参加の促進ということで、状況が報告されております。

私の方で理由を列記しておりますが、子ども達はボランティアをしたいという気持ちがあるのと認識・判断しています。ただ、保護者が『ボランティアよりは勉強しなさい』という意見も多いと認識しています。従って今後の方向性としては、ボランティア活動に対する家庭や保護者への理解の促進を図るような表現を入れていただいて、市民に訴えるようなものにしていただきたいですし、私は活動を通して、保護者にも訴えかけています。本日佐々木委員（PTA連合会）が欠席しておりますが、先般も『いじめ・非行をなくそう市民運動』の展開で、それにあわせて家庭の日推進運動の見直しなど地域をあげてPTAからのお願いもしておりますので、そういった項目も入れていただきたい。以上です。

○議長

事務局の方からいかがでしょうか？

○事務局（子育て支援課長）

宮田委員からも事前質問をいただき、検討しております。今回の例は素晴らしいことでもありますし、保護者の理解も大切であるということで、表現などは考えていきたいと思っております。

○会長

ありがとうございます。小中学校では学校でも頑張っていると思うが、高校になると学校によって温度差があり、時間がなかったり地域に出る意識もなかったりすると感じているところがあります。学校運営には口出しできないところもあるが、この視点に副えれば、学校も含めていっていただきたい。他に、いかがでしょうか？

○山口委員

幼稚園連合会の山口です。特別な支援を要する子どもについてお願いがあります。酒田市では現在非常に頑張っていており、保育所でもそうだと思うが、小学校への接続はかなりスムーズにいらっていると思う。

しかし、中学校への接続について心配がある。卒園時にも不登校になった子のことを聞くが、幼稚園のときに気になるような子だったと思うところもあった。特別な支援を

要する子については、言葉や心でも分かってもらえないところもあり、ある分野には特別な能力を持っているような子もいるが、世間と同じレベルで普通にすることはできないところがあるので、その部分への支援を重点していただきたい。

中学校に行くと、計画159番や170番など、中学に行けば確かに学習に重点を置かれることになるが、そういった子たちを社会に送り出すことは学校教育の重要な部分であると思いますので、是非支援を充実させていただきたいと思います。上の学校での支援も明記していただきたいと思います。

○会長

関連してのことと思いますが、大滝委員お願いします。

○大滝委員

この件について、教育委員会の分野で就学児委員会というものがあると思うのですが、そこに我々（医師）が呼ばれてはいません。どの先生がアドバイザーなのか全く分からないこともあり、小児科医も混ぜてくれるよう働きかけたが、教育委員会からは声がかからなかった。

私は庄内町の就学児委員会のアドバイザーをしているが、庄内町だと幼稚園からきた子を、小中学校や特別支援学校の先生、校長や教育委員会を交えて年に2回ほど案件を洗い出しし、議論している。

当然、中学校にあがるときも同様に議論をしている。しかし、酒田市ではそういったことがなく、構成員が誰かも分からず、中学校にあがるときもどうなっているのか分からない。現在では、医学の進歩もあって、支援が必要な子も増えてきている。

酒田市でそういった子たちが将来どうなっているのか見えてこないところがある。

○事務局（子育て支援課長）

この件は学校教育課や福祉課の発達支援室の対応だが、両課とも本日欠席のため、後ほど伝えさせていただきたい。

○会長

今の件は要望ということで是非伝えていただくことをお願いします。

山口委員の意見やボランティアもそうだが、『社会に送り出す』ことを考えると様々な連携が求められると思うので、この意見を汲み取っていただきたい。

○事務局（子育て支援課長）

酒田市では平成23年度から発達支援室を発足し、大人になるまで支援していくようになっている。その中でまだ手薄なところもあるため、この意見を伝えたいと思います。

○会長

よろしくお願いします。就学児委員会については次回お願いします。

議事（２）子ども・子育て支援新制度のパブリックコメントに移ります。結果について事務局からお願いします。

○事務局（子育て支援課長）

【資料２に基づき説明】

○会長

ありがとうございます。基準関する意見は２件ということで、我々も話を聞いてはじめて理解した部分などもあり、難しい点だったと思う。回答については公表もしますか？

○事務局（子育て支援課長）

公表は実施する。

○（委員より）どのように公表するのか？

○事務局（子育て支援課長）

ホームページにて実施する。市のパブリックコメントについては通常ホームページを活用しているため、今回も同様にする。

○岩間委員

母子家庭で親が頑張っている方も多く、そこから再婚相手との間に新たに子どもができることもあると思う。そういった状況にも対応し支援できるような体制づくりが良いのではないかと思う。保育料などは、多子世帯でも『預けるために働く』のではないといった点を魅力として発信できればいいと思う。

○会長

ありがとうございます。パブリックコメントについては他になければこのような意見として公表をお願いしたい。その他、各委員からの事前意見などに移ります。

事務局からの回答のほか、各委員からも意見をお願いします。

○事務局（子育て支援課長）

事前意見①：櫛引委員より『貧困家庭の学習支援について、NPO法人にこっとへの補助事業などについては考えはあるか？』について、前回も同様の話があったが、現在は県の委託を受けてひとり親家庭教育支援事業を実施してもらっている状況だが、平成27年度は県事業では廃止の予定。市単独としては新年度予算編成が始まるため、地域

事業として財政部門と協議して進めていきたい。

○石垣委員

現在は夏休み時期ということもあり、毎日のように学習支援を実施している。多方面に広告をしており、問い合わせも多い。小学校低学年が多く、教員免許を持ったスタッフと公益大生、教員を退職された方々が1対1で教えているような状態。

しかし、問い合わせでは中学生への学習支援希望もあり、受験に対応できるようなスタッフ確保や報酬の工面ができず課題になっている。

母子家庭では当然非常に助かるし、現在は公益大学の学生との交流で子どもにも刺激になり、好影響が伺える。スタッフ面での苦勞が大きいのだが、市では学習支援をどう考えているのか。

学習面では中学生への要望も大きく、学校の面談でも成績が落ちると『塾に行つてはどうか』との声もあるが、いかななものか。母子家庭などでは困難だと思うし、結果学習意欲低下からの悪循環も生み出しかねないため、是非学習支援について前向きな検討をお願いしたい。

○事務局（健康福祉部長）

健康福祉部長の岩堀です。これまでは『子育て支援』『ひとり親支援』として打ち出してきたところである。平成27年度7月からは、『生活困窮者自立支援』事業のメニューで市町村が選べる事業として、『貧困家庭の学習支援事業』というものがある。これについて対象範囲や実施機関についても含めて検討していきたい。

国でも『貧困家庭が発生していかないように』との動きもあるため、市としても検討課題としていきたい。

○会長

ありがとうございます。続けて北谷委員の意見についてお願いします。

○事務局（子育て支援課長）

資料提示等については、他機関や部署と協議しなければ回答できない部分もあるため、ご理解いただきたい。近藤委員からの意見にもあるが、議事録の公表が遅れている状況については大変申し訳ない、今後改善に取り組む。学童については、内部や委託先との調整も整わないと、具体的な策を示せないため、断言しかねるが、意見として取り上げていく。

○北谷委員

お願いします。

○会長

宮田委員の意見については先に取り上げたため、山口委員の意見に移ります。（1）

施設型給付幼稚園について事務局よりお願いします。

○事務局（子育て支援課長）

国で示しているのは一例で、徴収してはいけない資金関係についても具体的な例示がされていない。県を経由して照会し、示させていただきたい。具体例としてあれば、市へも確認していただきたい。

続けて（２）保育料についても、併せて県に照会するので、回答をお待ちいただきたい。

（３）園のバスについて、公定価格では60人規模に対し、公費では1月に児童1人あたり、1,300円の補助となっているが、確かに運営上は厳しい問題だと思う。現状では施策で具体的な話は示せない。保育園でもバスは自己負担を求めているが、ほか運営費で賄ってもらっている部分だが、今後の検討としていきたい。

○会長

（１）（２）は国や県の方針提示を待つ部分があるため、やむを得ない。認定こども園への移行についてはいかがであるか？

○事務局（子育て支援課長）

県でもパブリックコメントをしており、参考として資料をご覧いただきたい。

施設給付費（保育料）が決められないため、損失が発生した場合などは自治体からの費用保障など考えてもらえないかという件について、国でも予算編成の関係上1月頃と見込まれるが、入園申込については国では現在提示している国の見本額をもとに『変更のおそれがある』として、募集をかけていただきたいとのQ&Aを提示されている。

○山口委員

すぐには答えはいただけないものと想定していた。

○事務局（子育て支援課長）

（３）新制度に移行しない幼稚園については、今後も私学助成を継続する。経営上の制度は変わっても子ども・子育て会議の枠組みからも外されることはない。子どもの育ちに関しても足並みをそろえて取り組んでいきたい。

○会長

（４）について続けて事務局からお願いします。

○事務局（子育て支援課長）

学校教育課が主管となるが、確認したところ関係課長会議等を開催し、設置の方向で

検討が始まっているとのこと。

○山口委員

特別支援教育について、やはり重要性を感じているのでお願いしたい。平成27年度から開始としての具体的ないじめ対策は立てられているのか？なければ是非お願いしたい。

○事務局（子育て支援課長）

検討中のはずである。

○会長

市でも要保護児童対策地域協議会でも活発に議論や連携をとられていると思う。それもふまえての意見だと思うので是非お願いしたい。

近藤委員の質問に移ります。(2)の会議録については事務局にお願いし、1からお願いします。

○事務局（子育て支援課長）

きょうだい入園の保育時間取り扱いについては、国でも具体的に示されていない部分があり、私見としてはきょうだいの場合は標準時間を準用すべきと思うが、市としての見解は回答しかねます。

○近藤委員

内閣府にも問い合わせをしたのだが、内閣府自体も理解が浅いと思う。厚生労働省にも確認し回答を求めたところ、国から情報が来なくても市町村として率先して施策を打ち出すべきと考える。

それをもとに利用者への説明も始めるべき。県に確認すると市町村に確認するよう促されるため、地方間格差をつくる恐れもあるが、各基準においては市として率先してうたっていただきたい。

○事務局（子育て支援課長）

できるだけ反映したいと思うので意見をお願いしたい。

○事務局（健康福祉部長）

少子化対策については、市の対策本部を設けた。併せて子育て支援策も重要と考え向かっている。国も検討している状況に並行しての流れのため、難しいところは多い。料金設定等についても国の情報を待たず可能な部分は進めていきたい。

○会長

よろしく申し上げます。また、保護者へ情報提供は早めに公表願いたい。

○事務局（子育て支援課長）

チラシ作成やホームページなど、可能なことは対応したい。

○会長

一度には困難かもしれないが、順を追ってお願いしたい。

○近藤委員

関西では、新制度移行をしないと表明した幼稚園も聞くが、利用者が知らないことも多い。パブリックコメントをするにあたり、市民も議事録を確認したいはずなので、そのあたりも不親切だった。情報提供は積極的に実施していただきたい。利用者に不足のないように今後パンフレットの用意なども進めてもらいたい。予定なども具体化して行ってほしい。

○山口委員

広報について、7月の広報記事は幼児教育に関する国の無償化方策と時期も合ってしまい、たいへん都合も悪かった。以前は幼稚園にも関連記事の照会があったのだが？

○事務局（子育て支援課長）

予定などはこれからの検討部分もあり、示しきれないことが多く申し訳ない。広報については、保育園も含め、今後気をつけたい。

○会長

信頼関係も大事なため、スケジュール作成について、幼稚園・保育園を含めたたき台作成にも取り組んでもらえればと思う。次に学童について。

○佐藤委員

実態としては家族の状況に応じて18:30以後も保育をしていることはある。ただし、子どもが不安にならないよう18:10ころの連絡をお願いしている。常時遅くなる世帯では、普段から保護者に確認をとっているはず。土曜日については、行事を組んだりすることもあり、人数把握のため協力を願いたい。

指導員についても、新規採用をとるようにしているが、職員も安心して働けるような環境づくりも目指すため、保護者総会にも求めている。学童指導員でも家庭環境で休んだりすることがあるので、お互いに理解のうえ運営したい。

○会長

続いて赤松委員からの学校開放について事務局にお願いします。

○事務局（子育て支援課長）

教育委員会の主管となっているが、スポーツ少年団や地域活動のため開放をしている。体育館など比較的管理しやすいところや、空き教室など管理しづらいところもあるなど、安全面・施設管理の観点もあり、また学校だけの対応は難しいところがあります。

浜中の例のように地域の協力も得ながら実施できている部分もあり、先進地の事例もふまえ、すぐに対応は困難な部分もありご理解いただきたいと思います。

○赤松委員

大阪市で『いきいき』というホームページがある。18時までの開放がある。17時を過ぎると親の迎えも必要とするとのことだが、学童のほか学校を利用する事業もあり、予算の問題もあるが、工夫はできないものか？学校の負担も考慮する必要はあるが、協力を得ながらひとつの議論の材料にしてほしい。

○会長

学童保育も保護者からの共同保育として始まったところでもあるので、地域・学校と工夫していくことは重要だと思うので、今後も議論のポイントにしたい。

本日の議事は以上とします。

○岩間委員

【東北青年フォーラムの紹介】

○事務局（子育て支援課長補佐）

議事録等はホームページにて公表をしていきます。パブリックコメントについて9月議会にも提案になります。本日はここまでにさせていただきます。ご協力ありがとうございました。これをもちまして閉会といたします。次回は9月下旬を予定しています。